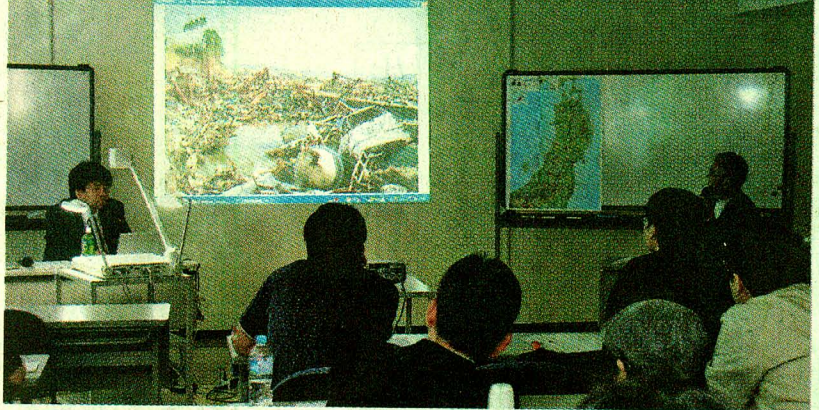


2011年(平成23年)5月1日 日曜日

東日本大震災の震災現場からの報告会
 ~今後の希望に向けて~



写真などを交えて現地の様子などを報告する市民活動情報センターの理事ら=30日午後、大阪市港区

今後の支援活動検討

大震災
報告会
現地の状況を踏まえ

大 阪

東日本大震災で現地
に赴いたボランティア
などの報告会が30日、
大阪市港区のpiaN
POで開かれた。主催
したNPO法人、市民
活動情報センターの今
瀬政司代表理事らが現
地の状況を踏まえ、今
後の支援活動のあり方
などを話し合った。

報告したのは今瀬代
表理事のほか、NPO
法人、とんだばやし国
際交流協会の真嶋克成
也理事長、大阪弁護士
会災害復興支援委員会
の三木秀夫委員長の3
氏。いずれも4月中旬
から1週間程度、被災
地で専門分野を生かし
て支援活動を行った。

3氏はそれぞれの活
動を報告。福島県をは
じめ現場の行政職員ら
の疲労が限界にきてい
ることや、子どもたち
の心に深い傷を負わせ
ていること、多重債務
など経済的な悪化が被
災者を自殺に追い込む
危険性などを訴えた。

今瀬代表理事は「地
元と応援者の連携、人
的接触が少ない。現地
の現実を肌で感じてほ
しい」。真嶋理事長は
「再生には私たちが立
ち上がるほかない。継
続的に被災地への支援
を考えてほしい」。三
木委員長は「エネルギー
など1945年の段
階まで立ち戻り、自分
たちの問題として取り
組む必要があるのだ
は」と話していた。